

第3期 中野区障害者自立支援協議会議事要録

部会名	自立支援協議会（全体会）	回数	2
日時	2012年7月31日（火）	13時30分	～ 15時30分
会場	中野区役所9階 第13会議室		
検討内容			
<p>1、会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の動きについて…差別禁止部会、障害者政策委員会が開かれている。障害者権利条約の締結に向けた法案に関わる検討が進んでいる。 ・某雑誌の記事について…社会には、精神障害に対する偏見の見解がまだある。社会に根付いた活動を行っていく必要性を感じた。 <p>2、健康福祉部長あいさつ</p> <p>障害者総合支援法が公布された。改正点について、区もこれから対応していくところ。</p> <p>3、個別ケア会議報告</p> <p>身体障害、高次脳機能障害、50代男性。ケアホームからの地域移行に向けた支援体制（生活環境整備、金銭管理、健康管理等）について検討した。身体障害者のケアホームからの地域移行ケースとしては初めて。会議の実施により、支援体制の構築と具体的な見通しが立ったことが成果だが、現在も金銭管理に関しては課題がある。</p> <p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回の金銭管理支援で十分でない方もいるが、きめ細かい支援は可能か？ →アシストなかのでも、支援体制は課題となっている。区民の登録制支援員を増やし、支援回数を増やす取組みを始めようと考えている。ケースバイケースなので、相談は可能。 <p>4、相談支援機関会議報告</p> <p>7月29日に第1回相談支援機関会議を行い、運営方法について確認した。次回の相談支援機関会議から、事例の持ち寄りを開始したい。</p> <p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院中の精神障害者のケースでは区外の病院で会議が開催されることもあるが、それも含まれるか。また、本人の意向と病院の判断との調整はどのように行うのか。 →ケース会議に関わった相談支援事業者または区のワーカー等で報告者を決め、報告する。 相談支援機関会議は、個別のケース検討の場ではなく、地域課題を具体的にし、具体的な検討材料を全体会や部会におとしていく作業をする場と位置付けている。 ・個別の事例についてサービス調整を行い、利用計画の作成や進行管理をとりまとめる場を位置付ける必要がある。そういう場がないと、相談支援機関が十分に機能しないのではないか。 ・サービス利用計画の作成にかかわる区の対応について、具体的に説明してほしい。 →計画相談は、特定相談支援の指定をとった事業所に行ってもらう予定。中部・北部のすこやか障害者相談支援事業所が指定をとる予定。相談支援事業所の体制が整い次第、区から計画作成についての案内文書を送付する。まずは、居宅系サービスの利用者から導入予定。 			

施設入所者や児童への対応については課題があり検討中。

- ・計画相談については、相談支援事業と切り離せない。どのように行っていくか、もっと議論を深めたい。

→利用計画については中野区としても整理が必要だと思う。次回の全体会で話し合いたい。

5、各部会報告

①相談支援部会

- ・具体的な課題検討（事例検討ではなく）をしたいと考えているが、個別ケア会議との関係性などを含め、部会の役割が分かりにくくなっている印象がある。

→個別の事情に対する具体的な解決策を検討する場も考えないといけない。

→課題抽出したときに、どこで解決に向かうか、部会の役割や体制を整理したい。

- ・地域移行支援事業が個別給付化されているが、入院中の方への情報提供や申請の手段など課題があると思う。

→相談支援部会として、新しい事業や仕組みを学習する必要があるのではないか。その上で、必要な役割などを部会でも研究してはどうか。

②地域生活支援部会

個人の緊急事態を支える地域づくりも視野に、相互理解や交流のきっかけとして講習会を企画したい。9月の部会で検討し、11月中旬に実施予定。今期も、部会での意見をもとにテーマを決め、学習会を開催しながら、検討していく。

③就労支援部会

- ・精神障害者の雇用率について、潜在的な数も含めるとかなりの数になると思われるが、それは含めないとの厚労省の見解が出ている。

→病気の発症を会社に伝えることで、マイナス要素が発生する（ために潜在化している）という背景がある。労働力としての障害者に対するとらえかたにも問題がある。福祉的就労の充実や水準をあげていく必要もある。

6、事業者連絡会報告

①居宅系事業者連絡会

研修会を開催予定。講師へ謝礼の支払いが必要になるので、認可をいただきたい。

→承認。

（事務局より）

自立支援協議会として10万円程度の予算がある。全体会の中で調整し、進めてもらいたい。

②施設系事業者連絡会

相談支援の重要性についての認識を共有し、今後は、相談窓口との連携も課題になると考えている。虐待防止法や差別禁止法などの重要法案についても勉強していきたい。

7、その他

①第2期中野区障害福祉計画の実績について

事務局から平成21年度から平成23年度までの障害福祉サービスの利用量の実績と計画

値の達成状況について説明。

②スポーツ祭東京2013 オープニングプログラム出演団体の募集について
事務局から情報提供。

③つむぎセミナー「虐待について考える」について
委員から情報提供。

その他 連絡事項

佐山委員が、アポロ園長を退職されたことにもない、委員も退任されることになった。後任の委員については、次回の全体会で委嘱等の手続を行いたい。

次回は9月10日（月）13：30～ 中野区役所7階 第10会議室

備考	
----	--